

殺菌剤
チウラム水和剤（フロアブル）

農林水産省登録 第21525号
（大内新興化学工業（株）登録）

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指している通称）
危険物：非該当
有効年限：4年
包装：1ℓ × 12, 2ℓ × 6

チオノック[®]フロアブル

有効成分：チウラム（化管法第1種）・・・40.0%

殺菌剤分類 **M3**

チオノック[®]は大内新興化学工業（株）の登録商標です。

特長

- 優れた予防効果を示す保護殺菌剤です。
- 抗菌スペクトラムが広く、また耐性菌の発生が少ない薬剤です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チウラムを 含む農薬の 総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 黒点病 褐斑病 すす点病 すす斑病 赤星病 炭疽病 輪紋病 灰色かび病	500倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	5回以内	散布	5回以内
なし	黒斑病 黒星病 赤星病 心腐れ症（胴枯病菌） 炭疽病 褐色斑点病	500倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	5回以内	散布	5回以内 （休眠期は1回以内）
もも	黒星病 灰星病 縮葉病 せん孔細菌病	500倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
ネクタリン	黒星病 灰星病 縮葉病 せん孔細菌病	500倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	5回以内	散布	5回以内
かき	落葉病 炭疽病 うどんこ病	500倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	2回以内	散布	2回以内 （休眠期は1回以内）
すもも	ふくろみ病 炭疽病	500倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
あんず	かいよう病	500倍	200～ 700ℓ	収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	黒星病	500倍	200～ 700ℓ	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
おうとう	褐色せん孔病 炭疽病 灰星病 幼果菌核病	500倍	200～ 700ℓ	収穫21日前 まで	5回以内	散布	5回以内 （萌芽後は2回以内）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チウラムを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	晩腐病 べと病 灰色かび病 褐斑病 黒とう病	1000倍	200～ 700ℓ	収穫60日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (休眠期は1回以内、 生育期は2回以内)
いちご	炭疽病	500倍	100～ 300ℓ	育苗期	5回以内	散布	7回以内 (育苗期は5回以内、 生育期は2回以内)
				生育期但し 収穫開始21日前 まで	2回以内		
茶	新梢枯死症	400倍	200～ 400ℓ	摘採21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
りんどう	褐斑病 葉枯病 炭疽病 灰色かび病	500倍	100～ 500ℓ	発病初期	6回以内	散布	6回以内
花き類・観葉植物 (りんどう を除く)	灰色かび病 炭疽病	500倍	100～ 500ℓ	発病初期	6回以内	散布	6回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 銅剤との近接散布は葉の汚れを生じるので注意してください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑葉にかからないように注意して散布してください。
- あんにずを使用する場合、果実に汚れを生じるおそれがあるので、落花30日後以降の散布はさけてください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期～袋掛けまでの散布は、果房の汚れや果粉溶脱を生じるおそれがあるので十分注意してください。
- シクラメンに使用する場合、花卉に薬害を生じるおそれがあるので、花柄伸長期以降は使用しないでください。
- いちごの開花期以後の散布は、果実の汚れを生じるおそれがあるので十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。